

2026 年 7 月 30 日

*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

Audi Q9、セグメント初のモデルとして室内空間と快適性を再定義： 新たなポートフォリオのフラッグシップ

- AUDI AG CEO デルナー：「Audi Q9 は、アウディ ポートフォリオの新たなフラッグシップです。ブランド初の大型フルサイズ SUV により、アウディはブランドのプレミアムな位置づけを高めています」
- この新たなフルサイズ SUV は圧倒的に広々とした空間で魅了し、プレミアムな素材、2 列目のインディビジュアル電動シート、および自動開閉機能付き電動ドアがビジネスクラスの雰囲気を高めています
- この新たなフラッグシップ SUV モデルは、包括的なドライバーアシスタンス、アウディモデルの中で最大サイズのパノラマサンルーフ、および世界初となる曲面デジタル OLED リヤライトを備え、アウディの先進技術を体現しています

(ドイツ本国発表資料) 2026 年 7 月 29 日、インゴルシュタット：アウディは、数字の「9」を初めて冠した、これまでで最も大きな SUV で、モデルポートフォリオの最上位を戦略的に拡充します。新型 Audi Q9 は、広々とした空間、精密なダイナミクス、そして技術革新をひとつのモデルに融合させています。主な特徴は、第 3 世代の曲面デジタル OLED リヤライト、2 列目のインディビジュアル電動シート、自動開閉機能付き電動ドア、ハンズフリードライブに対応するアダプティブドライビングアシスタントプラス、そしてアウディ史上最大となるパノラマサンルーフです。洗練されたサスペンションと quattro 四輪駆動が、高効率なパワートレインに搭載され、様々な路面状況下において、際立ったパフォーマンスと安定した走りを実現します。

AUDI AG CEO ゲルノート デルナー (Gernot Döllner) は、以下のように述べています。「今後、Vorsprung durch Technik (技術による先進) は、車内体験によってさらに再定義されます。なぜならば、自動車はもはや単なる移動手段を超える存在だからです。多くのお客様にとって、自動車は移動する居住空間 (モバイルリビングスペース) になりつつあります。それを Audi Q9 が、ポートフォリオの新たなフラッグシップとして体現しています。上質な素材、2 列目のインディビジュアル電動シート、そして自動開閉機能付き電動ドアは、インテリアにおける品質へのこだわりを強調しています。最新のドライバーアシスタンスシステムや包括的なユーザー体験が加わって、今後アウディブランドが目指す方向性が明確になります」。

上質な素材と魅力的な装備を特徴とする新しい Audi Q9 のインテリアは、アウディの品質へのこだわりを強調しています。お客様は、特徴が異なる 2 つのインテリアバリエーションによって、多数のオプションから好みに合ったオプションを選択できます。標準で 7 人乗りの新型 Audi Q9 には、2 列目の 3 つのシートすべてがチャイルドシートを装着することができ、大人数の家族には嬉しい装備があります。Audi Q9 はオプションで 6 人乗りレイアウトも選択可能で、さらにゆとりある空間とビジネスクラスの雰囲気を提供します。6 つのシートすべてに部分的に電動調整できる機能が標準装備され、ヒーター機能も選択できます。2 列目にある 2 つのインディビジュアル電動シートは、特別なハイライトです。3 列目のバックレストはボタン操作で個別に折りたたむことができます。1 列目では、ベンチレーション機能とマッサージ機能が備わるスポーツシートプラスが追加されます。アウディ初採用の自動開閉機能付き電動ドアは、より快適な車両への乗降を可能にします。広範囲に及ぶサラウンドセンサーが衝突を防止し、障害物検知システムによって、ドアが完全に開くことができない場合にはドアを停止します。また、電動のソフトクローズ機構によって、ドアを静かに確実に閉じます。自動開閉機能付き電動ドアは、複数の操作ポイントから開閉できるほか、[myAudi アプリ](#)によるリモート操作も可能です。

Audi Q9 のインテリアのもう一つのハイライトは、アウディ史上最大のパノラマサンルーフが標準装備されていることです。1.5 平方メートル超のガラス面が特徴で、チルトまたは全開で利用できます。オブ

ションで、透過度をスイッチで切り替えられるほか、パーソナライズできるアンビエントライティングにあわせて色が変わるガラスルーフのイルミネーションを初採用しています。

Audi Q9 は、圧倒的な存在感を示します。全長 5,310mm、全幅 2,210mm、全高 1,810mm、ホイールベース 3,140mm の車格は、アウディ史上最大のモデルです。垂直に立ち上がったフロントデザインは、フルサイズ SUV に堂々とした佇まいと明確な個性を与えています。標準仕様の advanced line とオプションの Sline の 2 つの装備ラインは、明確に区別されています。advanced line は、シングルフレームに垂直バーを配置した風格のあるデザインです。一方で、Sline のエクステリアは、よりスポーティな印象のデザインになっています。最大 23 インチのアルミホイールが新型 Audi Q9 の存在感を高める一方で、ルーフレールや力強いリヤオーバーハング、アップライトなキャビンなどのデザイン要素が、SUV の実用性とゆとりのあるプロポーションを強調します。

先進的なライティングテクノロジーが Audi Q9 の力強い存在感を高めています。その中には世界初の技術が含まれています。第 3 世代デジタル OLED リヤライトは、フォルム、機能、そして安全性の新たな基準を打ち立てます。世界初となるアウターデジタル OLED パネルは、超薄型ガラスにより三次元の曲面デザインとなっています。これにより、パネルが車両のシルエットに沿って流れるような新たなデザイン表現が可能になるだけでなく、より広い角度から光が見えることで視認性も向上します。ライティングテクノロジーにおけるもうひとつの革新が、道路交通の安全性を高めるアドバンスト ターンシグナルです。この機能は、夜間にはフロントおよびリヤのダイナミックターンシグナルと連動して、路面にターンシグナルを投影し、周囲の道路利用者からの視認性を高めます。マイクロ LED モジュールを備えたデジタルマトリクス LED ヘッドライトは、優れた照射距離、正確な照射、そして高いコントラストを実現しています。ライトガイド機能は拡張され、道路上での安全性がさらに向上しています。

市場導入時には、Audi Q9 は、最高出力 220 kW (299 PS) および最大トルク 630 Nm を発揮する 3 リッターV6 ディーゼルエンジンを搭載してドイツにて発売します。また、一部の欧州市場においては、180 kW (245 PS) および 500 Nm を発揮する仕様も設定しています。[MHEV plus テクノロジー](#)を採用した 3 リッターV6 ディーゼルエンジンは、ダイレクトなスロットルレスポンスを実現する電動コンプレッサー（EPC）を特徴としています。次世代パワートレインジェネレーターを含む MHEV plus テクノロジーは、最大 18 kW (24 PS) の追加出力でドライブレインをアシストします。これにより、3 リッターV6 ディーゼルエンジンは力強い発進性能と優れた燃費効率を両立します。Audi Q9 は、迅速なシフトチェンジを実現する 8 速ティプトロニックと、quattro フルタイム四輪駆動が標準仕様となっています。

新型 Audi Q9 は 7 月末からドイツで注文可能となり、第 4 四半期から納車が始まる予定です。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

アウディ ジャパン ウェブサイト
<https://audi.co.jp/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120-598106



アウディについて

アウディは、インテリジェントで電動化された製品を通じて変革を推進し、未来のモビリティを創造しています。このプレミアム自動車ブランドは、世界 100 以上の市場で展開されています。そのグローバルな生産ネットワークは 13 カ国 22 拠点に及び、8 万 8,000 人以上の従業員が *Vorsprung durch Technik*（技術による先進）の精神のもと結束し、勇気、情熱、責任、そして信頼により、100 年以上にわたる自動車製造の伝統を未来に向けて再解釈しています。2026 年、アウディはモータースポーツの DNA を大胆に体現すべく、ファクトリーチームとして *Formula 1* に参入します。

また、アウディ グループには、スーパーカーメーカーのランボルギーニ、ラグジュアリーブランドのベントレー モーターズ、そしてモーターサイクルメーカーのドゥカティが含まれます。

アウディ グループの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。
